

## 本学教室員執筆書籍の紹介

### 鈴木昭広・松坂 俊 編集 羊土社 「救急エコースキルアップ術」

鈴木 昭 広

一昨年、麻酔・救急・集中治療などの急性期診療に役立つ書籍として「あてて見るだけ！劇的！救急エコー術」を刊行したが、その書籍が2014年の社内新書ベストセラー賞を受賞したため。二匹目のどじょうを狙って企画されたのが本書である。折しも筆者は救急生活5年を終え、麻酔科に戻っていたためなかなか新しい所見やアイデアを生み出す機会がなかったのだが、救急時代の仲間である松坂 俊先生を巻き込み、前著とは違う形で、急性期の超音波診断手法を麻酔・救急・集中治療だけではなく、総合診療的に広げられないかと試行錯誤して執筆したのが本書となる。

せっかくの機会なので旭川医大の存在感を全国に知らしめたい、との思いから、大学の仲間や同門のつてを頼り、「キョクイ流」の書籍をつくることを心がけ

た。救急科 丹保亜希仁 先生、耳鼻科 片田彰博先生、臨床検査部 赤坂和美 先生、同級生の第3内科 鈴木康秋 先生（現在名寄市立）、麻酔科 岸真衣先生、柏木祐太先生 五十嵐浩太郎先生、産婦人科 小野方正 先生、旭川ペインクリニック病院 赤間保之 先生などのご協力を得て書籍は刊行され、好評を得ている。

筆者は大学卒業までの24年間と同じ24年間、干支2周分を旭川医大ですごすこととなり、その節目となる年に一つの仕事として急性期超音波学に関わる業績を全国に先駆けて発信し、母校への恩返しの一環としてこれら計3部作を作り上げることができた。ひとえに大学の皆様のご指導ご鞭撻のおかげと考えており、ここに深謝いたします。誠にありがとうございました。

#### 急性期超音波 3部作一覧

